

秘書人形 木綿子

Ogura Yuko



YUKO OGURA THE SECRETARY





社長…

木綿子君

—木綿子にだって
分かります…

はい

ただ今

それが
どういう事なのか…

……

大学を出て入社一年目の
OLが一流企業の
“社長秘書”に大抜擢…



—でも…



私が選んだ
スーツ

思った通り
よく似合う
じゃないか

は

はい…

君のボディラインが
はつきりと分かる
からねエ…

だが…

社長!?

あ…!

この野暮ったい
ブラは頂け
ないな…

この見事な巨乳

ブラに納めておくの
はもったい無いよ

恥ずかしい
かい？

ふあ…い

もっと恥ずかしく
なっていんだよ…
そうしたら—

ああ

イヤッ

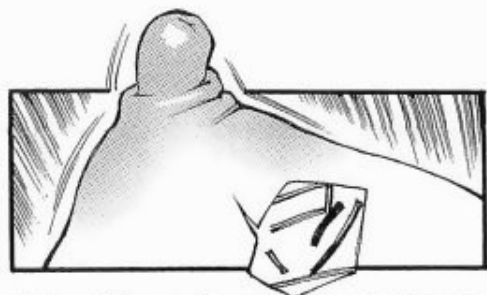
もっと
気持ちよく
なれるから…





男を惑わす
イヤらしい肉体に
秘められた才能

私はそれを
高く評価して
いるんだよ



可愛い顔
の下の…



はアン

はン…

もっと…

もっと大胆に
感じてごらん
!

—だから







—こんなに

恥ずかしいのに…

はあッ

ひアアン！

もう…止まらない…
溢れちゃウツ…！

社長—！！

押さえきれない
このキモチは…

ナニ？

！

気にしないで
思いつきり
いきなさい

木綿子…

ングッ

ンノーッ!!

社長…ワタ…シ…

タタタタ



❖END❖